

うきたむ考古通信

2024年8月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

7月以降の体験事業の結果

(1) 勾玉・弓矢・石器を作ろう

7月6日(土)に第2回目が開催されました。1回目は参加者が少なく、コロナ以前には戻らないのだろうかと思案していましたが、今回は勾玉が26名、弓矢が11名、石器が4名と1回目に比べ参加者が倍増しました。ホッと一安心です。



(2) 大人の自由研究1

7月13日(土)にカラムシから繊維を取る作業を行いました。3名の参加がありました。

館長講座「遊佐町の考古学Ⅰ」の結果

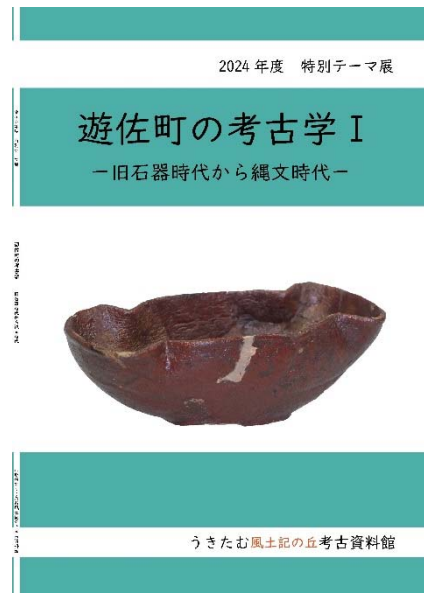
7月7日(日)と7月14日(日)に開催しました。受講者は1回目が8名、2回目が7名でした。なお、講座の配布資料は当館ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

♥展示状況

●特別テーマ展

「遊佐町の考古学Ⅰー旧石器・縄文時代ー」は9月8日(日)までとなっています。

展示図録が刊行されました。
オールカラーA4版 87頁
頒布価格 500円（絶賛頒布中）
安価な頒布価格となっております。



kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展

6月1日（土）～9月22日（日）

令和5年12月1日に審査結果が発表された「第4回 kid' s 考古学新聞」の入賞作品の巡回展です。今年度もロビーで展示しています。全国の小学生の作品を27点展示しています。5・6年生の入賞作品が15点、4年生以下のチャレンジ作品が12点です。素晴らしい力作が揃っています。今回も山形県内の児童の入選作はありませんが、毎回力作ぞろいです。9月22日（日）までとなっています。ご家族での見学をおすすめいたします。

♥展示予告

第32回企画展は『やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ』と題し、これまでに県内で調査された遺跡から見つかった、古代から近世までの祭祀に関連する遺構・遺物の展示を行います。

第32回企画展の開催期間は令和6年9月14日（土）～12月1日（日）です。

第1章「祈りの形」では、仏像・神像や形代、仏具などの祭祀遺物を展示します。

第一節では、三条遺跡、今塚遺跡、山海窯跡、宮ノ下遺跡、上野遺跡、大南遺跡、山形城三の丸遺跡、荒川2遺跡、矢馳A遺跡などから出土した、神仏を描いたと考えられる墨書土器や木簡、神像、仏像を展示します。第二節では俵田遺跡、今塚遺跡、生石2遺跡、蟬田遺跡、馳上遺跡、手蔵田遺跡、八幡一遺跡、大楯遺跡、亀ヶ崎遺跡、鶴ヶ岡城などから出土した、人形、舟形、武器形などの形代を展示します。第三節では、北目長田遺跡、大楯遺跡、上高田遺跡、山形城三の丸遺跡などから出土した、仏具等を展示します。

第2章「書き残された祈り」では、祭祀に関連する木簡や墨書土器などを展示します。

第一節では、今塚遺跡、太夫小屋遺跡、馳上遺跡、生石2遺跡、横山C遺跡、宮ノ下遺跡、三条遺跡、蟬田遺跡、道伝遺跡から出土した祭祀に関連する墨書土器、刻書土器を展

示します。第二節では、服部遺跡、後田遺跡、馳上遺跡、藤島城跡、小田島城跡、山形城三の丸遺跡などから出土した祭祀に関連する木簡や笹塔婆を展示します。

第3章「祈りの場」では、寺院跡や仏堂跡と考えられる遺跡、遺構を紹介し、その出土品を展示します。高松Ⅱ・Ⅲ遺跡、太夫小屋遺跡、八幡一遺跡、上の寺遺跡、中山廃寺跡、覚範寺遺跡、米沢城跡などを展示します。

第4章「祈りの風景」として、祭祀遺構や埋葬遺構、経塚などを紹介し、その出土品を展示します。

第一節では、関B遺跡、岩崎遺跡、新青渡遺跡、南興野遺跡等で見られる井戸祭祀に関わる遺物を展示します。第二節では下長橋遺跡、東田遺跡、浮橋遺跡などで見られる地鎮祭祀に関わる遺物を展示します。第三節では行司免遺跡、柳沢A遺跡、渋江遺跡、八幡西遺跡から出土した、葬送儀礼に関わる遺物を展示します。第四節では、笠松山経塚、称名寺裏経塚、金俣経塚、滝経塚、郡之神遺跡、高野坊遺跡から出土した経筒や一字一石経石、ババ岳山頂出土経筒などを展示します。

山形県における古代から近世までの、人々とカミ・ホトケとの関わりについて考える展示にしたいと思っております。皆様ぜひご来館下さい。



考古学セミナー

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催します。

企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを狙いとします。

※第26期考古学セミナー（講座のテーマ「遺跡の中のカミ・ホトケ」）

令和6年9月22日(日)

- ・庄内平野の遺跡からみるカミ・ホトケ
山形考古学会顧問 佐藤 庄一氏
- ・古代最上・置賜郡の寺に関するあれこれ
(公財)山形県埋蔵文化財センター 渡辺 和行氏

令和6年9月29日(日)

- ・遺跡の中のカミ・ホトケー八幡一遺跡の出土例からー
(公財)山形県埋蔵文化財センター 水戸部秀樹氏
- ・遺跡の中のカミ・ホトケー中近世の遺跡を中心に
(公財)山形県埋蔵文化財センター 高 桑 登 氏

令和6年10月6日(日)

- ・「カミ・ホトケの」の信仰と経塚
長井市史編纂専門員 岩崎 義信氏
- ・遺跡の中のカミ・ホトケー米沢市の調査事例を中心にー
米沢市教育委員会 佐藤 公保氏



企画展講演会

11月17日(日) 13:30～15:30

演 題 「遺跡の中のカミ・ホトケ」

講 師 三上 善孝氏 (国立歴史民俗博物館教授)